

## 第 34 回災害対策委員会 議事録

開催日時：2021 年 7 月 7 日（水） 18:00～18:45

開催場所：ZOOM

参加者

山根雅樹、宮崎 郁英、橋本 和哉、書記：山根

### 議題

#### 1. 災害対策委員会の組織について

一般社団法人群馬県臨床工学技士会災害対策委員会(以下当委員会)は 2016 年に発足し、災害発生時に群馬県医務課や日本透析医会群馬県支部と協力し、県内の透析医療機関に対して、透析要請・受け入れを支援する役割を担う。

##### ●血液浄化委員会

委員長：山根 雅樹

委員：宮崎 郁英 橋本 和哉

#### 2. 災害対策委員会の役割について

- (1) 関東臨床工学技士協議会災害伝達訓練への参加及び企画立案。
- (2) 群馬県医務課主催の群馬県災害時透析医療マニュアル訓練への参加及び本部業務支援。
- (3) 広域連携会議への参加(各都県庁の災害担当及び担当医、臨床工学技士との会議)。
- (4) 日本透析医会群馬県支部事務局としての業務。
- (5) その他災害発生における下記活動。
  - ① 自然災害等の発生時、被災地周辺では被害状況の発信が出来ないことが多いため、当委員会の担当者が現地へ赴き、施設の許可を得た上で被災情報を日本透析医会災害情報ネットワークへの登録及び県災害対策本部への報告を支援する。
  - ② 情報収集にあたり発生した交通費や宿泊費は全額当会の負担とする。
  - ③ 必要な交通手段の確保、宿泊先の確保については、担当者自身が行う。
  - ④ 一般的な傷害保険を当会として契約を行うが、個人でも保険に加入されることを推奨する。
  - ⑤ 旅費等の支給について以下の経費は本人立替。後日、実費を支給。現地での宿泊費、現地までの交通費(クルマの場合は距離(km)×15 円)その他、現地での移動にかかる経費。日当 5000 円とし、この中に食事代を含むものとする。
  - ⑥ その他 現地までの食料・移動手段は原則自己確保。派遣の際の交通手段・宿泊先は、自己確保、料金は立替えとする。

\* 災害対策委員会会議を、理事会開催日を目途に行う。学術大会やセミナーで演題や関連する講演を企画する可能性がある。

### 3. 災害対策委員会の役割分担

現在の委員の数ではとても足りないので各地域（東毛・中毛・西毛・北毛）からメンバーを募りたい。

### 4. 災害訓練の企画について

You tube をご確認ください [1xxtw33}syxy2fi30 fy\gw\ \[Eq E](#)



### 5. ワクチン業務支援について

今回担当することになりました。

#### ①スケジュール調整（案）

調整係、2週間で交代

#### ②スケジュールを支援者へ送信

#### ③県との窓口（マニュアルの更新や連絡）

#### ④業務完了報告書を県へ提出

#### ⑤報奨金の支払い業務（会計 PC を用いた振込）

### 6. その他

会議の労務費は各委員会で支払う。

次回会議 9月上旬

以上